

## ② アウトリガ不使用

単位(t)

ブーム長さ	静止時				走行時(1.6km/h以下)			
	9.8m		16.6m		9.8m		16.6m	
作業半径	前方	全周	前方	全周	前方	全周	前方	全周
3.5m	8.95	3.9	8.7	3.6	7.45	3.2	7.25	3.0
4.0m	7.75	3.0	7.5	2.85	6.45	2.45	6.25	2.2
4.5m	6.7	2.2	6.45	1.9	5.6	1.8	5.4	1.55
5.0m	5.85	1.6	5.6	1.3	4.85	1.3	4.65	1.05
5.5m	5.1	1.05	4.85	0.75	4.2	0.85	4.0	0.6
6.0m	4.4	0.6	4.15	0.5	3.65	0.5	3.45	
6.5m	3.85		3.6		3.15		2.95	
7.0m			3.05				2.55	
8.0m			2.2				1.8	
9.0m			1.45				1.2	
10.0m			0.85				0.7	
A(°)	0~73	20~60	35~73	60~73	0~73	20~60	35~73	60~73
標準フック	35tフック				35tフック			

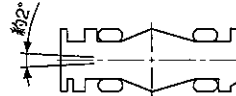
A:ブーム角度の範囲(無負荷時)

## ③ アウトリガ不使用時の注意

1. 定格総荷重は、水平堅土上においてタイヤのエア圧が規定圧(900kPa(9.00kgf/cm<sup>2</sup>))で、かつサスペンションシリンダを最縮小した場合の値で、ブーム作業時はつり具と主巻フック質量(340kg)を含んだ値です。  
太線より上はクレーンの強度によって定められ、下は安定度によって定められています。実際の作業では、地盤、作業状態等を考慮して使用してください。
2. 作業半径は、ブームおよびタイヤのたわみを含んだ実際の値に基づいていますので、必ず作業半径を基準にしてください。
3. 各ブーム長さにおけるフックのワイヤロープ標準巻掛本数は下表のとおりです。ただし、この掛数以外で使用する場合は、ロープ1本当り主巻4.38以下、補巻5.0以下としてください。

ブーム長さ	9.8m	16.6m	シングルトップ
巻掛本数	4	4	1

4. 高速巻き下げ作業、ブーム長さが16.6mを超えるブーム作業およびジブの使用はしないでください。
5. 「前方」のクレーン作業は、AMLの「前方位置シンボル」が点灯しているときに行ってください。前方の範囲は、ブームがキャリヤの前方2°以内です。



6. シングルトップの定格総荷重は、ブームの定格総荷重より240kgを差し引いた値とし、つり具と補巻フック質量(100kg)を含んだ値で、かつ限度は5.0tです。
7. つり荷走行は、「駆動モード切換」スイッチを「6WD低速走行」にし、シフトスイッチを1速にして行ってください。
8. つり荷走行は、旋回ブレーキをかけ、荷が振れないように地面近くに保持し、1.6km/h以下で行ってください。特に急ハンドル、急発進、急ブレーキは避けてください。
9. つり荷走行中には、クレーン作業を行わないでください。

## ■ 作業半径-揚程図

